

KANDEN REPORT

トピックス

柔軟かつ経済的な
LNGの調達を目指して

神戸らんぷミュージアム営業再開

グループ会社紹介【関電不動産開発】

関西を軸に首都圏、
海外へ積極的に展開



姫路第二発電所

エネルギー分野における 日本のリーディングカンパニーを目指して 中期経営計画に掲げた目標の確実な達成に向け 取組みを加速させてまいります



取締役会長 **八木 誠**

取締役社長 **岩根 茂樹**

株主のみなさまには、常日頃、格別のご高配を賜わり、厚く御礼を申し上げます。

まず、台風21号をはじめとした自然災害が相次いで発生し、多くのお客さまに停電によるご不便とご迷惑をおかけしましたことを、あらためて深くお詫び申し上げます。

今後、大規模災害が発生した場合でも、より的確に対応できるよう、全社一丸となって課題に取り組むことで、電気を安全かつ安定的にお届けし、社会のみなさまの暮らしを支えるという、当社の使命をしっかりと果たしてまいります。

第2四半期は増収減益 中間配当は25円といたしました

2018年度第2四半期決算の連結収支につきまして、売上高(営業収益)は1兆6,106億円、経常利益は

1,177億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は727億円となりました。(詳細は6頁に記載)

当年度の中間配当につきましては、経営環境を総合的に勘案の上、1株当たり25円といたしました。

昨年に続き、7月1日から電気料金を さらに値下げいたしました

大飯発電所3、4号機の再稼動による火力燃料費等の削減分および経営効率化の深掘りの成果などをもとに、7月1日から、関西のお客さまの電気料金を、平均で5.36%値下げいたしました。

引き続き、魅力ある料金メニューの設定やサービス拡充に取り組み、価格とサービスの両面で当社の競争力をしっかりと高めてまいります。

首都圏等での販売拡大に向けた取組みを 加速しています

電力の小売全面自由化に伴う事業領域・エリアの拡大を、当社グループにとっての新たな成長に向けたチャンスと捉え、最大のマーケットである首都圏等での販売拡大に向けた取組みを強力に推進しております。

関西エリア外でも、「お客さまと社会のお役に立ち続ける」ことを最大の使命として、一人でも多くのお客さまに当社グループのエネルギーやサービスをお選びいただき、ご満足いただけるよう、取組みを加速させてまいります。

イノベーションの積極的な推進により、 さらなる成長を目指します

新たな事業領域に挑み、さらなる成長の可能性を追求してまいります。

具体的には、培ってきた強みを活かすとともに、革新的な技術やビジネスモデル等を有するベンチャー企業など社外との連携・協働を強化することで、これまでにない様々なイノベーションの取組みを推進し、お客さまや社会に新たな価値をお届けする新規事業、新商品・サービスの開発および既存事業の改革に挑戦してまいります。

事業環境の変化に的確に対応し、 さらなるグループ価値の向上に努めます

送配電事業の中立性確保を目的に、2020年4月に法的分離が実施されます。これに向けて、当社は送配電事業を会社分割により100%出資の子会社として分社化し、発電事業や小売事業等については、事業持株会社とする方向で検討を進めております。

特に発電事業や小売事業では、保有する経営資源を最適に活用し、お客さまに多様なエネルギーソリューションをお届けすることで、より多くのお客さまにお選びいただき、さらなるグループ価値の向上に努めてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、引き続き、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

首都圏等での販売拡大

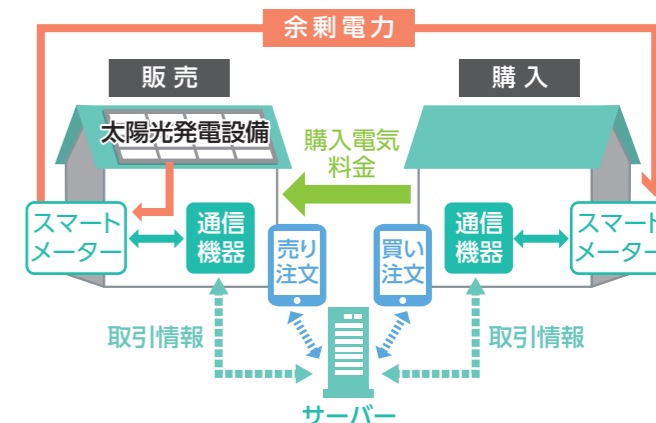
Next Power
[Next Power株式会社]を通じて、首都圏を中心に、マンション高圧一括受電サービスを展開

2025年度末に首都圏等の関西エリア外で**100億kWh**の販売を目指す

はぴeプラス
首都圏のお客さま向けのお得な低圧電気料金メニューの設定

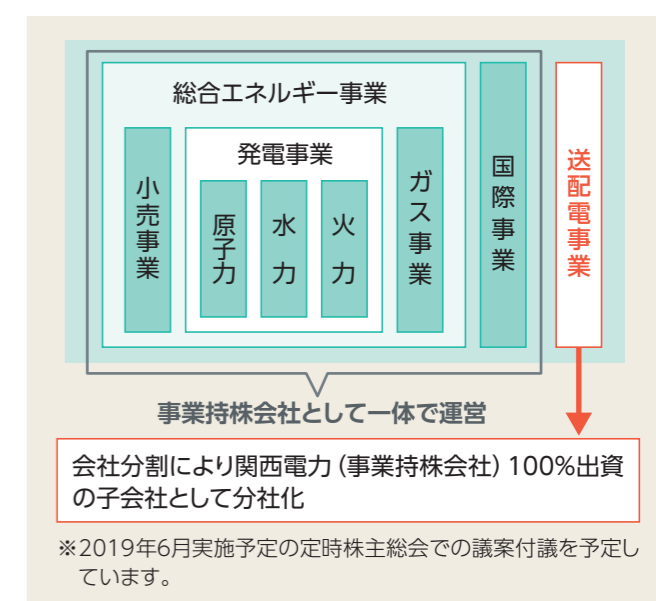
オープンイノベーションの取組み事例

太陽光発電設備を設置するお客さまが、別のお客さまに余剰電力を直接販売できる新システムの実証研究*を開始しました。



*東京大学、日本ユニシス株式会社、株式会社三菱UFJ銀行と協業で実施。

送配電事業分社化時のイメージ



柔軟かつ経済的な LNGの調達を目指して



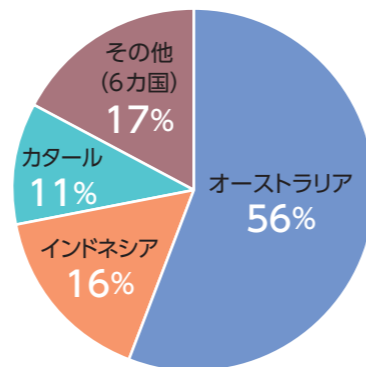
LNG 調達の概要

当社は、火力発電用の燃料やガス販売のためにLNG（液化天然ガス：採掘時に気体の天然ガスを、約マイナス160℃に冷却・凝縮することで液体へ変化させたもの）を調達しており、全量を輸入しています。2017年度における調達量は、9カ国から合計806万トン、日本全体の調達量の約1割にあたります。

■当社LNG調達の取組み

オーストラリアのブルートやイクシスといったLNGプロジェクトへの投資や、自社LNG船（エビス、フクロクジュ、ジュロウジン、サクラ）の保有など、LNGの生産から受入れまでの燃料調達チェーンの各部で取組みを進めるとともに、調達先の分散化や価格指標の多様化に努め、安定的、柔軟かつ経済的なLNG調達を行っております。

●2017年度LNG調達先



調達量: 806万
(日本全体の調達量: 8,389万t)

コーブポイントLNGプロジェクト

当社は本年7月、米国メリーランド州コーブポイントにて生産されたLNGの受入れを開始いたしました。長期契約に基づく、米国シェールガス由来のLNGの受入れは、日本の電力会社で初となります。当社グループは本年より20年間にわたり、年間80万トンのLNGを受け入れる契約となっています。



■当プロジェクトによるメリット

●柔軟に調達、販売することが可能

従来のLNG契約の大半には、LNGを受け入れる場所や転売に関する制約が設定されていましたが、当プロジェクトにおいてはその制約がありません。そのため、LNG火力発電所の稼働状況やガス販売の需要に応じて、柔軟に調達・販売を行うことができます。

●価格変動リスク低減を実現

従来、当社が調達していたLNGの価格は、日本に輸入された石油の価格に連動して推移するものがほとんどでした。一方、当プロジェクトのLNGは、米国での天然ガスの取引価格をもとに算出されるため、仮に石油の価格が大きく変動した場合でも、その影響を緩和させることができます。



コーブポイントからのLNG初受入れの際に輸送を行った自社LNG船[LNG JUROJIN (ジュロウジン)]

関電トレーディングシンガポール社での取組み

■機動的なLNGの調達・販売

2017年4月、シンガポールにLNGの調達と販売の強化を目的とした新会社「関電トレーディングシンガポール社」を設立しました。

需要等の変化に臨機応変に対応できる体制を強化し、太平洋エリアのLNG取引ハブであるシンガポールで情報収集のネットワークを拡大・強化することで、機動性、経済性、安定性に優れた調達、販売に貢献しています。



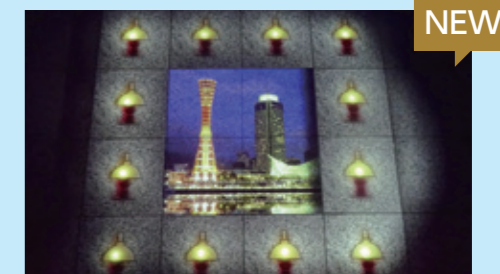
神戸らんぷミュージアム営業再開



神戸らんぷミュージアムは、原始的な灯火具から近代の石油ランプ、電灯にいたるまでの変遷を楽しみながら学べる「あかり」の博物館です。

2013年4月から休館していましたが、プロジェクションマッピング、阪神・淡路大震災からの電力復旧にかけた日々を紹介したパネルなどの新たな展示物を追加し、本年7月18日から営業を再開しましたので、是非お越しください。

所在地：神戸市中央区京町80番 クリエイト神戸3F
 営業時間：午前10時～午後5時
 休館日：月曜日（祝日・振替休日の場合はその翌平日）
 年末年始（12月28日～1月4日）
 入館料：大人200円、小人（小中学生）100円 ※小学生未満無料
 お問い合わせ：神戸らんぷミュージアム TEL.078-333-5310



プロジェクションマッピングの上映
 幾何学模様をモチーフにしたアールデコのデザインをベースに神戸および旧居留地の魅力を表現した約3分の映像作品を上映



グループ会社紹介

関電不動産開発 (不動産・暮らし事業)

関西を軸に首都圏、海外へ積極的に展開

関電不動産開発は、関西電力グループのノウハウを結集し「省エネルギー」「環境にやさしい」を軸に、不動産の開発、運用、管理まで一貫したサービスを提供し、あらゆるニーズにお応えする総合不動産会社です。関西だけでなく、首都圏や全国各地の中核都市、さらには北米、東南アジア等の海外事業にも積極的に参画しています。

投資開発・ビル事業

芝パークビル (東京都港区) の共同取得や、うめきた2期地区開発共同事業者に選定されるなど、不動産開発事業において着実に案件を増加させ将来の収益向上に繋がる投資を推進するとともに、欧米を中心とした成熟市場においてオフィスビル等の賃貸事業を展開しております。また、不動産投資信託を手がけるアセットマネジメント会社を立ち上げ (2018年8月設立)、さらなる収益拡大を図ってまいります。



芝パークビル (東京都港区)



Atlanta Financial Center (アメリカ アトランタ)

分譲住宅事業



シエリアタワー千里中央 (2019.2竣工予定)



シエリア湘南辻堂 (2018.1竣工)



The Manor Central Park プロジェクト (ベトナム ハノイ)

シエリアタワー千里中央 (大阪府豊中市、総戸数552戸)、シエリア湘南辻堂 (神奈川県茅ヶ崎市、総戸数352戸) の完売をはじめ、関西、首都圏において順調に拡大している一方で、東南アジアを中心とした成長市場においても積極的に事業を進めております。

分譲戸数は、年間約1,000戸の供給を続けており、今後も徐々に拡大を図り、2025年には年間1,400戸を計画しています。

【今後の事業展開】

今後は、事業エリア・事業領域の拡大を積極的に展開し、総合不動産会社としての存在感を高め、関西電力グループ中期経営計画で掲げた不動産・暮らし事業の2025年度経常利益300億円達成を目指してまいります。

KANDEN history

当社初のLNG長期契約 ～石油依存からの脱却、公害防止のために～

1970年代、石油依存からの脱却、公害問題への対応が当社の課題となる中で、その対策の1つとして、石油・石炭にくらべてCO₂排出量が非常に少なく、クリーンなエネルギーであるLNGの積極的な採用に取り組みました。

1973年にジャカルタにおいて、日本政府の全面的な協力の下、当社他4社とインドネシア国営石油公社プルタミナ社との間でLNGの売買契約を締結し、1977

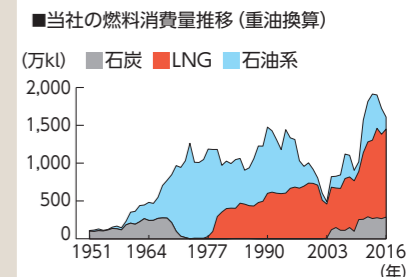
年から20年間、毎年度240万トン (当社分) という当時としては最大規模のLNGが輸入されることとなりました。

その後もオーストラリアを中心に中東などからも調達を行い、調達先の多様化を進めてきました。

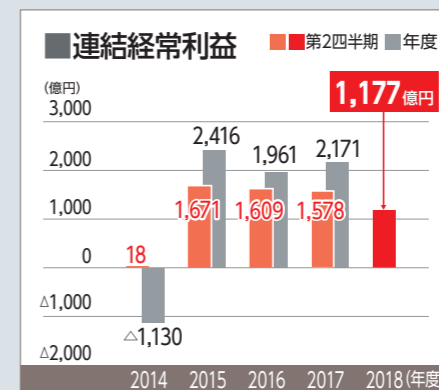
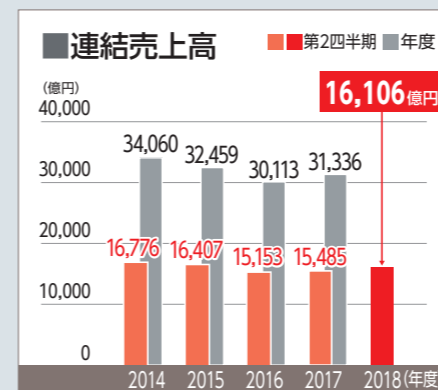
現在、LNGは火力発電用燃料の約7割を占め、重要な役割を担うようになっています。



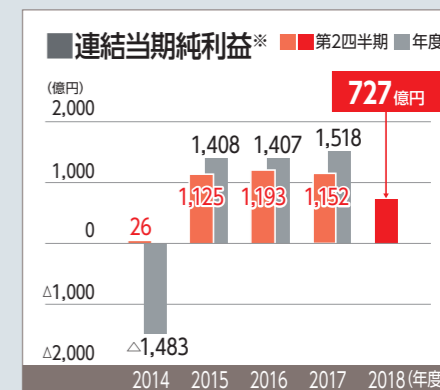
インドネシアLNG契約調印式の様子



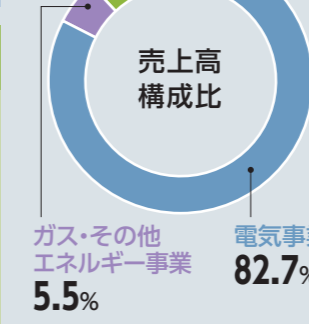
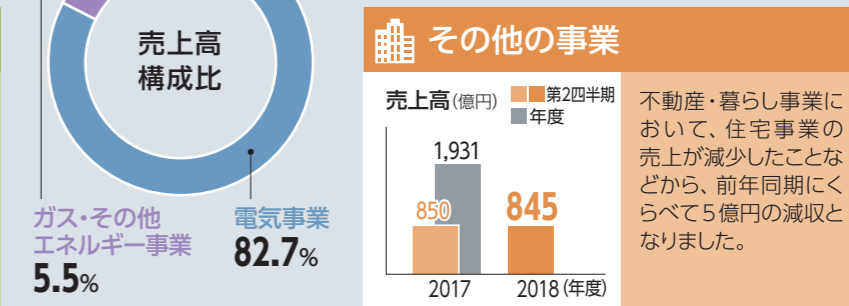
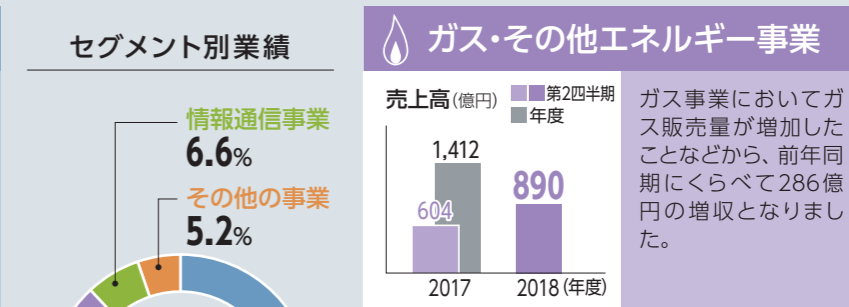
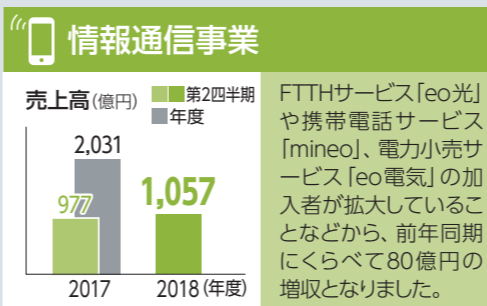
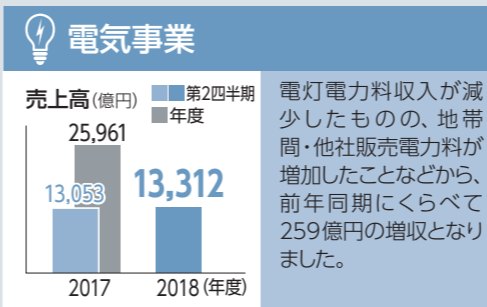
Financial Highlights



※親会社株主に帰属する当期 (四半期) 純利益を指します。



収入面では、電気事業において、販売電力量が増加したものの、電気料金の値下げなどにより、電灯電力料収入が減少しましたが、地帯間・他社販売電力量の増加により地帯間・他社販売電力料が増加したことに加え、ガス・その他エネルギー事業や情報通信事業の売上高が増加したことなどにより、売上高は前年同期に比べて増収となりました。一方、支出面では、徹底した経営効率化に努めたことに加え、原子力プラントの運転再開による費用の減少があったものの、燃料価格の上昇や販売電力量および地帯間・他社販売電力量の増加に伴う費用の増加などにより、経常費用は前年同期に比べて増加し、**経常利益は1,177億円**となりました。なお、台風21号により被害を受けた設備の復旧工事等に要する費用128億円を特別損失に計上した結果、**親会社株主に帰属する四半期純利益は727億円**となりました。



株主さま限定当社施設見学会のご報告

当社事業について、ご理解をより深めていただくため、昨年に引き続き、株主さま向けの施設見学会を実施いたしました。姫路第二発電所での見学会（9月28日、10月3日実施）の様相を報告させていただきます。

ご見学いただいた姫路第二発電所は、当社最大の発電設備容量を誇る発電所で、敷地面積は約75万㎡と甲子園球場の約19倍にも及びます。また、当社で唯一LNGの受入れから発電まで一貫して行っている発電所であるため、多種多様な設備が存在しています。

当日は、冒頭で発電所の概要を映像や資料を用いて解説した後に、2班に分かれて中央制御室、発電設備等を見学いただきました。その後は構内をバスで移動し、車窓からLNG設備、関電ガスを製造するガス託送設備等を見ていただきました。

参加された株主さまのお声

- 設備のスケールの大きさに感動した。
- 家ではスイッチを入れれば当たり前前に電気を使えるが、設備を見て、説明を聞くことで電力会社の大変さがわかった。
- 職員が思っていたより少なく、効率化が進んでいるなど感じた。
- 初めて現場を見たが、社員の熱意が伝わってきた。
- 火力設備の仕組み等は、難解でイメージしづらい部分もあった。

その他当社を応援するお声や、様々なご意見を多数いただきました。ありがとうございました。

中央制御室



タービンフロア



ガス託送設備



株式に関するマイナンバー制度のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きで必要となりますので、株主さまから、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

〈株式関係業務におけるマイナンバーの利用〉

法令に定められた、配当金や株式の譲渡取引に関する支払調書等には株主さまのマイナンバーを記載し、税務署へ提出いたします。

マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先

- 証券口座にて株式を管理されている株主さま
お取引の証券会社までお問い合わせください。
- 証券会社とのお取引がない株主さま
三菱UFJ信託銀行 大阪証券代行部までお問い合わせください。
☎0120-094-777

株主メモ

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 6月
- 基準日 定時株主総会・期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
(その他必要あるときはあらかじめ公告します。)
- 公告方法 公告掲載URL
<http://www.kepco.co.jp/>
(ただし、事故等やむを得ない事由により電子公告を行うことができない場合は、大阪市において発行される朝日新聞、毎日新聞に掲載して行います。)

- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座管理機関
(同連絡先)
〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
☎0120-094-777

株式に関する手続きのお問い合わせ先

- 証券口座にて株式を管理されている株主さま → お取引先の証券会社
- 証券会社とのお取引がない株主さま → 三菱UFJ信託銀行 大阪証券代行部

未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

最新の情報は当社ホームページ (<http://www.kepco.co.jp/>) をご覧ください。

関西電力株式会社 総務室 文書・株式グループ
〒530-8270 大阪市北区中之島3丁目6番16号 TEL:06-6441-8821(代表)